



暑くても味、色づきイイネ！👍 加温ハウス向けウンシュウミカンの新品種を開発！

— 新品種でハウスミカン産地の更なる発展を —

開発の背景・ニーズ

ハウスみかんは4月～9月にかけて出荷されますが、特に最需要期である7～8月に出荷するハウスみかんは、猛暑の影響もあり、なかなかきれいに色づかないことが問題となっています。そこで着色が良く、食味も良い品種の開発を目指しました。

成果の内容

2005年からJA蒲郡市と共同研究を始め、産地のみかん畑の中で早く色づく枝変わりを探しました。見つけた新品種候補の中から着色、食味とも良好な「C系統」を選抜し、生産現場からの高い評価を得て、2024年7月に品種登録出願を行いました。

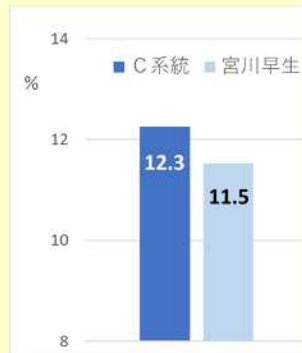
新品種「C系統」は、既存品種の「宮川早生」より10日ほど着色が早くて果皮色が良好です。また、糖度・酸含量ともに「宮川早生」よりやや高く、食味の良い品種です。



「C系統」の果実



加温ハウス栽培における
満開137日後の着色状況



果実糖度*



収穫果実の着色歩合*
(着色した面積の割合)

* 2020年～2024年の平均値

愛知県農業への貢献

果皮色が良好で糖度がやや高い新品種「C系統」は果実の秀品率が高くなることで、生産者の収益性向上につながります。また、2027年3月から共同開発者であるJA蒲郡市の生産者に苗木が供給され、2033年頃に出荷が始まる予定です。

【本品種はJA蒲郡市との共同研究で開発しました。】